



2021年8月2日

各 位

会社名 大和工業株式会社
代表者名 取締役社長 小林 幹 生
(コード番号: 5444 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 米澤 和 己
(TEL 079-273-1061)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月30日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	65,000	3,500	15,500	10,000	152.25
今回修正予想(B)	67,500	3,000	20,000	13,500	207.54
増減額(B-A)	2,500	△ 500	4,500	3,500	
増減率(%)	3.8	△ 14.3	29.0	35.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	84,236	6,832	12,961	1,940	29.07

2. 2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	133,000	8,000	26,500	17,000	258.82
今回修正予想(B)	144,000	8,500	43,000	29,500	453.52
増減額(B-A)	11,000	500	16,500	12,500	
増減率(%)	8.3	6.3	62.3	73.5	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	136,025	10,018	21,569	4,984	75.29

3. 修正の理由

鉄源需給の逼迫から鉄スクラップ及び鉄鉱石価格は高値圏で推移することが見込まれております。また、鋼材需要につきましては、ロックダウン等による建設現場の稼働率低下により鋼材需要に停滞感が見られる国・地域がある一方で、米国鋼材市況は堅調な非住宅建設需要に牽引され、鋼材需給が引き締まった状況が継続することが見込まれるなど、当社グループの各社が事業を展開している国・地域毎に濃淡が見られる状況となっております。なお、原材料及び鉄鋼製品の国際市況に大きな影響を及ぼす中国の動向に関しては、2021年1月の鉄スクラップ輸入再開、2021年5月の鉄鋼製品輸出に対する増値税還付撤廃に続いて、足元では中国政府が同国鉄鋼メーカーへの粗鋼減産要請を行っていることと見られていることから、引き続き注視してまいります。

以上を踏まえ、主に米国の持分法適用関連会社の業績が前回予想時よりも好調に推移する見通しであることから、業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の売上高を67,500百万円(前回予想比2,500百万円増)、営業利益を3,000百万円(前回予想比500百万円減)、経常利益を20,000百万円(前回予想比4,500百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益を13,500百万円(前回予想比3,500百万円増)に上方修正し、また、通期につきましても売上高を144,000百万円(前回予想比11,000百万円増)、営業利益を8,500百万円(前回予想比500百万円増)、経常利益を43,000百万円(前回予想比16,500百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益を29,500百万円(前回予想比12,500百万円増)に上方修正いたします。

(注)業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上